

『花影』（昭和一二）所収。友は、虫の音をもっと近くで楽しもうと庭へ降りた。虫は一旦静まったが、蹲って動かない彼に、また鳴きだした。虫の声のなかに友は静かにいる。額の微光によって、その存在を確かに描きだした。そして、友を見降ろして立つ作者も見える。虫の声のなかの二人には、宗教的雰囲気を感じる。デューラーなどの影響を受けていた時代の岸田劉生の絵の気分がある。虚子門。【虫・秋】

踞きよして友ともの額ぬかに微光こうや虫むしを聞きく
原はら石鼎せきてい

澤

9

虫

澤俳句鑑賞	256
小島ゆかり	20
石田秀子	22

澤通信句会のお知らせ……………4

第十九回同人句会のお知らせ……………6

小澤 實 隠世造宝 十五句……………10

高橋睦郎 季語練習帖 第一四一回……………12

潺湲集 小澤 實選……………14

大蛸 美倉かんな 七夕竹 野口桐花

ルの字 川又憲次郎 お帰り 高橋博子

線状降水帯 川上弘美 蠱毒 川口正博

ポリバケツ 豊田・ヌー こんにやく 小田まり

針生姜 結城あき 麦酒 町田無麿

胃 左官屋宇兵衛 人流 汕としこ

桃 加藤鉞物 真砂女 葛西省子

缶 宮崎玲子 恵比寿 福原桂子

窓

俳書を読む

西村和子『わが桜』／橋本石火『犬の毛布』／橋本喜夫
『潜伏期』／北大路翼『見えない傷』／如月真菜『琵琶行』
加納 燕……………24

詩文学芸書を読む

秋山邦晴(高崎俊夫＋朝倉史明編)『秋山邦晴の日本映
画音楽史を形作る人々』／アニメーション映画の系譜』
根岸哲也……………26

総合誌俳句鑑賞

「俳句」七月号／「俳壇」七月号 柳元佑太……………28

俳句結社誌を読む

「火星」大木由美子……………30

通信句会の秀句 村越 敦……………32

潺湲集巻頭作家インタビュー 石橋志野……………34

澤集巻頭作家インタビュー 内堀いつぼ……………35

俳句を豊かにするもの

俳句で豊かになる日々 伊藤とろたく……………36

引越し 木内縉太……………37

同人代表句 平野セイコウ／古川恵子……………38

同人一句鑑賞 廣瀬温代／中村 麻……………39

澤裾……………40

澤四十句 小澤 實選……………42

選後独言

句の解像度 小澤 實……………44

澤集 小澤 實選……………46

今朝／佐藤涼子／井上雅恵／柳元佑太／中井亜由／木内縉
太／山岸樵鹿／鈴木桃子／山口土器／近藤信男／新澤 岳
／与曾井章雄／ゑる吉

新入会員……………79

消息／正誤表／8月号発送報告……………80

澤俳句叢書一覧……………81

雑誌「澤」購読のご案内／購読料更新のお知らせ／

澤基金募集のお願い……………82

澤基金応募者芳名／投句のご案内……………83

澤句会・カルチャー一覧……………84

広告……………85 後記……………90

デザイン||玉井一平

澤
令和3年9月1日発行
澤 俳句会
頒価 1,200円

表紙／小澤
實著『秀句三五〇選友』より